

海外発行カードのATMによるキャッシング

澤 功（澤の屋旅館主人） ※この記事は日観連機関誌の2008年2・3月号に掲載されました。

セブン銀行の人が私どもの旅館からセブンイレブンまでの地図を持ってATM（Automatic Teller Machine 現金自動預け払い機）の宣伝にやってきました。

セブン銀行では全国のセブンイレブンの店舗のほか、羽田空港、成田空港などに1万2千台を超えるATMを設置し、それは英語、韓国語、中国語、ポルトガル語の4ヶ国の画面と音声で対応でき、それが平成19年7月からは海外発行のカードでもキャッシングができるようになり、それも365日、24時間可能になったそうです。これは外国のお客さまにとってはとても便利になったということです。

ところで私がはじめてATMを認識したのは、平成4年に家内と香港に行った時です。夜の町歩きをしていると銀行でない建物にATMがあつて、そこでカードでお金を引き出しているのです。それは24時間いつでもできると聞いて、香港は便利な町だなと感心しました。

その頃から、宿泊の外国のお客さまにATMがどこにあるか尋ねられ、銀行にあると教えてあげました。ところが帰ってきたお客さまから「海外発行のカードでは、銀行のATMは使えなかったよ」と言われました。

そこでビザカードの会社に聞きに行くと、ビザカードでキャッシングができるATMが日本のどこに設置されているかを記載したパンフレットを沢山くださいました。それを外国のお客さまにあげるようにしています。東京では有楽町のマリオンの一階にあり24時間対応と聞き、自動販売機みたいなものからお金がでるのが不思議で、わざわざ見に行つたことがあります。

平成12年になると、郵便局のATMが海外発行のカードに対応できるようになったと聞きました。キャッシングをしたいというお客さまを連れて郵便局に行きました。英語表示にしてカードを挿入し、暗証番号を打ち込むと日本円がでてきて、私はやったと思いました。1回で最高限度が1万円ですが、それを繰り返せば必要な金額を出すことができます。ところが使用時間があります。月曜～金曜は午前9時～午後5時30分、土曜は12時30分まで、日曜、祝祭日は休みになります。少し離れた郵便局では日曜、祝祭日でも午前9時～午後5時までやっていることを知って、休日にはそこを紹介しています。

ところで私は、平成15年に開催された日米観光交流促進協議会に日観連の委員として出席しました。そこで、当時のビザインターナショナルのリンツ部長が、カードについて興味ある発言をしているのを聞きました。

「日本のカードは国際ルールを無視してカードを作っているため磁気がカードの表面にある。これは日本国内の特別ルールでやっている。海外発行のカードは裏面に磁気がある。そこで銀行のATMは海外発行のカードには対応できない。今出来るのは郵便局のATMだけであるが、どのATMでも出来るように改善して欲しい」と言われました。

私は、ここではじめて銀行のATMが出来ない理由を知りました。しかしこのことはいつまでたっても改善されませんでした。こんな状況の中での今回のセブン銀行の快挙です。

平成20年の1月に、国交省はインバウンドの推進に貢献している17名の人をYOKOSO JAPAN大使に任命しました。その中にセブン銀行の安齋 隆社長が、海外発行カードで日本円をキャッシングできる旅行環境の整備の取り組みを積極的に推進したという功績で大使に選ばれました。私はこれは時宜にかなった選定だと思います。

ところで、私どもではチェックインしたお客さまに周辺地図を必ずあげています。これで周辺の案内をしますが、郵便局にはATMがあつて、ここでキャッシングが出来ますと説明していました。今度、地図にセブンイレブンを記載し、ここではいつでも出来ますと言うと、皆が「グッド」と言われます。先日テレビの取材が来た時にセブンイレブンのパンフレットが映るように、一番目立つところに置きました。